

あべともこニュース

いのちと人権を守る政策の実現を

◆暮らしを支える補正予算を。

8日、2022年度第2次補正予算案が閣議決定。これは、先月28日に取りまとめられた「総合経済対策」の「裏付け」とされています。

一般会計総額は、28兆9222億円、財源の約8割にあたる22兆円8520億円は、国債の追加発行で賄うと。これにより、今年度国債新規発行は、約62兆円、過去2番目の規模に膨らみます。その多くは、経済対策の一つであるエネルギー価格の負担軽減策や子育て世帯への支援に当てられる予定ですが、予備費約4兆円については自民党の要望に応じたという報道も。業界中心の補助金ではなく、公共サービスや社会保障の下支えに使うべきです。

Table with 2 columns: Category (e.g., 3 「新しい資本主義」の加速, 4 国民の安全・安心) and Amount (e.g., 5.49, 7.54). Includes a sub-table for '基金の新増設や予備費で歳出が膨らむ'.

出典：毎日新聞「補正予算、水増しで膨張先食い・基金・最大の予備費」2022.11.9



衆議院議員あべともこプロフィール
神奈川県 藤沢市・寒川町
当選8回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこどもクリニック(湘南台)理事長
現在、厚生労働委員会 原子力問題調査特別委員会委員

あべともこ公式Twitter @abe_tomoko
あべともこ事務所公式Facebookページ
https://twitter.com/abe_tomoko
https://www.facebook.com/abetomoko.jp

あべともこ 検索
あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集中!

◆障害者権利委員会の勧告に逆行!

11日に厚生労働委員会で質問に立ちました。政府は今の臨時国会に障害者総合支援法、精神保健福祉法など5本の法律の改正案を一つに束ねて提出しています。それぞれ重要な障害者施策なのに、5本まとめてでは審議時間も不十分で、本気度が疑われます。

また、9月9日には、国連障害者権利委員会が、政府が障害者権利条約を締結してから初めて出した報告への総括所見を公開しました。障害者の自立生活への支援やインクルーシブ教育など、幅広い問題について勧告が行われています。ところが、法案は勧告に沿うどころか、精神病院への同意なき保護入院の拡大など全く逆向きの内容になっていきます。勧告の中で一番重要なポイント、自分たちのことは自分たちで決めるといふ障害者の自己決定で

◆マイナンバーカードが取れない?

2024年迄には保険証を廃止、全てマイナンバーカードにするという政府方針ですが、そもそも障害のある人、知的障害、認知症、精神疾患、重度の障害者などは、自分の意思でカード申請出来るか、委任状に署名できるかなどが大きなハードルになっています。

現に自筆で署名できないからと申請を断られた重度の障害者のご家族が、全て断られた方々はマイナンバー取得時、その後保険証として使う場合にも誰かのサポートが必要です。病院の窓口ではカードの中のオンライン情報を使っても良いどうか聞かれますが、その意味がわからなかったり、意思表示にも誰かの助けが入ります。

障害者権利条約では健常者のことしか考えない政策を非障害者優先として厳しく戒めています。政府は方針を撤回すべきです。

